

平成 28 年度 標津小学校の教育

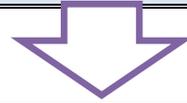
1 校 訓 「役に立つ子どもになる」

2 学校教育目標

「健康で明るく、力強い子ども」

【体力】身体をきたえる子 【思考】よく考える子 【意志】最後までやる子 【情操】美しい心をもつ子

3 めざす姿・関連事項



めざす子どもの姿

- 日本国憲法の精神
- 教育関係諸法規の規定
- 時代や社会の要請と課題
- 学習指導要領改訂

- 学びの期待に瞳を輝かせて登校する子。
- 学びの時間に達成や習得を喜び合う子。
- 学びの合間に友達と認め励まし合う子。
- 学びの満足感にあふれた笑顔で下校する子。

- 学校・地域・子どもの実態等
- 標津町の教育方針
- 「標津型学習スタイル」の定着
- 根室管内の教育方針

めざす学校の姿

- 質の高い教育を行う学校。
- 安心安全な環境で心と体を育む学校。
- 社会に貢献する児童を育てる学校。
- 地域に開かれ成果を示す学校。

めざす教師の姿

- 子どもへの愛情と使命感をもつ教師。
- 誇りと理想をもち実践を積み重ねる教師。
- 協働意識があり困難に立ち向かう教師。
- 保護者や地域から信頼される教師。

4 教育基本理念 「ふるさとを愛し、未来を切り拓く、自立する人間の育成」

- 「ふるさとを愛する」 → 家族や友達、地域、日本や世界を愛する心。自然、環境、文化、歴史を愛する心。地球を愛する心。差別や偏見を許さない心。平和を求める心。自分自身を愛する心。
- 「未来を切り拓く」 → より良い未来を目指し、自己の将来をイメージし実行できる人になること。困難に立ち向かい、協力して問題を解決しようとする意欲と態度を持つこと。
- 「自立する人間」 → 向上心をもち、世のため人のために役立とうとすること。たくましく生きる力と急激に変化する社会に即応できる力を身につけること。

5 学校評価等による学校課題

- ① 基礎・基本を身につけ、活用できる「確かな学力」
- ② 社会に貢献し、人を思いやる「豊かな心」
- ③ 困難に立ち向かうことができる「たくましい体」
- ④ アクティブ・ラーニングを踏まえた標津型学習スタイルの確立
- ⑤ カリキュラム・マネジメントを踏まえた学校組織の運営および保幼中・保護者・地域との連携強化
- ⑥ 学校力（組織力・授業力・指導力）の向上
- ⑦ 特別支援教育「ときわ学級」の指導体制と個別支援計画、校内研修プログラムの活用
- ⑧ 保護者の実態把握と適切な対応
- ⑨ 標津幼稚園・双葉保育園・標津中学校との一貫教育推進事業強化
- ⑩ 授業改善推進チームによる川北小学校との研修連携
- ⑪ 教育委員会事業、社会教育事業、地域行事への積極的参加

6 平成 28 年度 学校経営の重点と手立て

	重点項目・内容	手立て
重点 点 1	<p style="text-align: center;"><u>確かな学力を育てる学習活動</u></p> <p>①問題・課題を自力および協力して解決する授業改善に取り組む。 ②複数の教員による指導方法を確立し、繰り返し指導を徹底する。 ③国語力、特に言語活動の充実を図る研修を行う。 ④様々な学習方法を工夫し、ICT機器の活用を図る。 ⑤「しべツール」による学習規律を定着させる。</p>	<p>○標津型学習スタイルの研究 ○アクティブ・ラーニングの研究 ○T T、習熟度別学習、全員研究授業 ○「話すこと」「聞くこと」の研究 ○タブレット、デジタル教科書活用 ○「しべツール」、家庭学習の手引き ○読書指導、外国語活動の充実</p>
重点 点 2	<p style="text-align: center;"><u>豊かな心を育てる集団づくり</u></p> <p>①縦割り班の活動で、責任感と連帯感を育てる。 ②児童会活動や集会活動で、自主性と協調性を育てる。 ③一人一人の良さや個性を認め合う学級経営を行う。 ④道徳等でいじめを絶対に許さない教育を行う。 ⑤「生活リズムチェック」を行い、家庭との協力を進める。</p>	<p>○縦割り班清掃活動、縦割り遠足 ○児童会企画行事、委員会活動 ○きらり☆タイム、全校朝会 ○いじめ調査、アセスの実施 ○3・7・30のチェック ○私たちの道徳、いじめ防止、人権 ○年4回の生活リズムチェック週間</p>
重点 点 3	<p style="text-align: center;"><u>体力向上・健康増進と安全指導</u></p> <p>①運動の機会を数多く設け、体力の向上を図る。 ②健康診断の結果を意識した生活習慣の改善に取り組む。 ③栄養教諭による食育を充実させる。 ④避難訓練や外部講師の講演等で、防災・防犯教育に取り組む。 ⑤校舎内外の環境を整え、安全管理を行う。</p>	<p>○基礎体力づくり、体育専科指導 ○運動会、遠足、スケート、マラソン ○全校児童体カテスト実施 ○地域スポーツ行事参加 ○給食指導、保健指導、安全指導 ○津波避難、薬物防止、喫煙、性教育 ○教室・特別教室・廊下の整理、美化</p>
重点 点 4	<p style="text-align: center;"><u>生き抜く力を育てるキャリア教育</u></p> <p>①質の高い「あいさつ」を身に付けさせる。 ②社会生活に必要な知識・技能を身につける教育を行う。 ③郷土に誇りを持つ「ふるさと学習」に取り組む。 ④自分のよさや可能性、自尊感情、自己肯定感を育てる。 ⑤働くことの大切さや将来の自分の姿を想像できる職業教育を行う。</p>	<p>○「時を守り、礼を正す」 ○きまり、ルールを守る指導 ○地域学習、体験学習、情報教育 ○「マイファイル」個別記録集 ○職業学習、夢と希望をもたせる指導 ○ほめて認めて励ます教育 ○特別支援教育に関する様々な取組</p>
重点 点 5	<p style="text-align: center;"><u>組織的な教育活動「しべチーム」の推進</u></p> <p>①教職員の組織力を高めて、アクティブな教育活動を進める。 ②支援が必要な児童、対応が必要な事案はチームで対応する。 ③服務規律を徹底し、事故防止に努める。 ④授業改善推進事業などの加配教員を中心とした協働体制を整える。 ⑤家庭・地域・他校と情報を共有して、未来志向の教育活動を進める。</p>	<p>○学年、分掌、特別委員会、ときわ ○服務に関する研修会、校外研修会 ○教科時数管理、教育課程編成 ○人材育成、ミドルリーダー活用 ○校務支援システム活用 ○標津地区一貫教育推進協議会 ○家庭訪問、参観日、評議員、少年団</p>
重点 点 6	<p style="text-align: center;"><u>教職員の資質向上を図るマネジメントの推進</u></p> <p>①重点1－5を実現するために教育活動と経営活動の融合を図る。 ②地域人材、物的資源を効果的に活用する。 ③新たな人事評価制度を活用し、課題解決意欲と資質向上を図る。 ④R（リサーチ）PDCAサイクルで検証と改善に取り組む。</p>	<p>○校長のリーダーシップ、責任と決断 ○教育目標の具現化、必要備品の準備 ○組織構造と教育活動のリンク化 ○地域人材登録、教育課程へ位置づけ ○複数回面談、指導助言、評価 ○学校評価、懇談、保護者・地域の声</p>